



# JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第56回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥ことお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第56回全国研究発表大会が平成28年6月4日(土)、5日(日)に横浜市立大学金沢八景キャンパス(神奈川県横浜市)にて開催されます。金沢八景キャンパスは、横浜市南部の金沢区にあり、品川と羽田空港に直結する京浜急行の駅から徒歩5分のアクセスです。多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：平成28年6月4日(土)、5日(日)

開催場所：横浜市立大学 金沢八景キャンパス

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2 <http://www.yokohama-cu.ac.jp>

連絡先：実行委員長 永松陽明(横浜市立大学) E-Mail：[a\\_nagama@yokohama-cu.ac.jp](mailto:a_nagama@yokohama-cu.ac.jp)

主催：日本経営システム学会

協賛：日本経営工学会、経営情報学会、情報システム学会、日本情報経営学会、社会情報学会、研究・イノベーション学会、日立返仁会、日本品質管理学会

統一論題：「オープンデータの活用推進と経営システム」

基調講演：「横浜のオープンイノベーション・プロジェクト」 横浜市政策調整担当理事 長谷川 孝 氏

特別講演：「日立におけるオープンデータの取組み」 株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット

公共システム事業部公共ビジネス本部 チーフコンサルタント 前田 みゆき 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円、(当日支払は各 1,000 円高)

懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円(当日支払各 1,000 円高)

昼食：4日(土)は学食がご利用いただけます。近隣にはレストランやフードコートがあるイオンがございます。

宿泊：横浜駅(電車20分)周辺にホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込み方法を参考に上記金額を5月27日(金)までにお振込み下さい。期限後に振込みされた方は、振込の控えまたはコピーをお持ち下さい。

### ■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい(もし、ご不明な点がありましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい)。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員(一般的には指導教員)との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とする。

### ■会場設備について

全ての発表会場に PC とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。

データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり大変準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

#### ■大会会場へのアクセス

電車利用：京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩 5 分、  
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩 7 分  
※改札口を出て直ぐに、駅ホーム下ガードをくぐるとキャンパスにお越いただけます。  
主な駅から京浜急行「金沢八景駅」までの所要時間

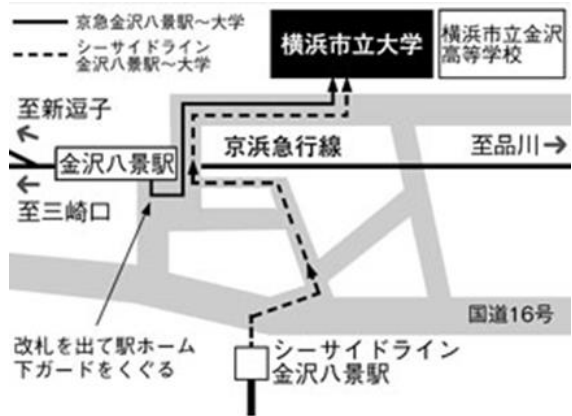
- ・「横浜駅」から京浜急行快特・特急で約 20 分
- ・「品川駅」から京浜急行快特・特急で約 40 分

自動車利用：学外の方にご提供できるスペースがございませんので、ご遠慮ください。

#### ■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格：一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。
2. 学生会員の発表条件：学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。
3. 連名者の資格：研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約：同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3 件目からは 1 件あたり 5,000 円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い：口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について：既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと無断欠席：大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。



## 第 55 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 和多田淳三

日本経営システム学会の第 55 回全国研究発表大会が、2015 年 9 月 2 日（水）～3 日（木）、統一論題「技術経営における経営システムの役割」のもとに、北九州市国際会議場（福岡県北九州市）で開催されました。特別講演として「IEC における国際標準化」と題して、パナソニック（株）顧問 でスイスに本部のある国際電気標準会議会長の野村淳二・工学博士に話していただきました。基調講演として「海外進出と企業の社会的責任—東南アジアにおける企業行動のあり方」と題して、中村学園大学 教授 山田啓一・経営学博士（常任理事）に話して頂きました。統一論題に関係してパネル討論：「技術経営における経営システムの役割」を 2 時間にわたり、パネラー：石井博昭（関西学院大学）、能勢豊一（大阪経済大学）、松丸正延（神奈川大学）、山田裕裕（メガチップス）、山田啓一（中村学園大学）、和多田淳三（早稲田大学）を迎え、コーディネータ：久保田直行（首都大学東京）の下で行われました。多数の参加があり、参加者とパネラーとの間で活発な質疑応答が行われました。さらに大会の第 2 日目の最後に参加者の便宜を図るため、R+ERP 経営研究会のご厚意によって第 53 回大会に続けてチュートリアルを提供しました。今回は「オープンソース ERP にかかるチュートリアル（入門）」と題して行われました。

本大会では、並行して国際経営工学シンポジウムが開催され、両参加者が両大会に自由に聴講できるように便宜が図られました。第 1 日目に開催された懇親会は西日本工業倶楽部で行われました。ここは、北九州の炭鉱王で安川電機や九州工業大学設立等にも関係した松本健次郎の私邸を現在の場所に移築され

たものであり、自らの住宅と学校の迎賓館を兼ねて建てたものです。洋館は辰野金吾が設計を行なったアールヌーボのデザインです。家具まで含めてアールヌーボでデザインされたっており、大変珍しいものです。日本館は洋館の建築監督でもあった久保田小三郎の設計であります。現在、国の重要文化財に指定されています。

統一論題で7件、研究部会で9件、自由論題で63件(うち学生発表25件)の研究発表がなされました。特別講演者、基調講演者、学生ボランティア(20名、含国際会議作業員)を除き、大会の実参加者は128名、懇親会参加者は国際会議の参加者と招待者を含め103名でした。今回の大会開催にご尽力いただいた、多くの会員の皆様、理事・評議員の皆様、発表者・司会者の皆様、学会事務局、そして会場を提供いただいた北九州市に、この場を借りて深く感謝申し上げます。おかげさまで無事終了できました。

最後に、今回の大会方式が、JAMSの大会の国際化の契機となれば幸甚に存じます。

---

## 新年度に向けて

---

第18期会長 小田哲久

会長職を仰せつかってから1年が過ぎようとしています。この間、2回の全国研究発表大会を経験しました。昨春の大会は共愛学園前橋国際大学での開催でした。群馬県内で初の大会ということで、北関東地域の会員増強が期待できる大会となりました。秋の大会は、北九州国際会議場での開催で、国際会議との同時開催(相互の発表を聴講可)となり、学会の国際化という10年来の計画がさらに前進しました。また、九州沖縄支部の発足と同時期であり、支部発展に大きく弾みをつけるものとなりました。両大会の実行委員会の御尽力と、大会を盛り立てていただいた参加者の皆様に、理事会を代表して深謝申し上げます。

これからの大会についてですが、春は横浜市立大学、秋は札幌大学での開催となります。北海道での大会は、4半世紀前の函館大学以来となります。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

この1年間、私は、学会が今後どう進むべきかを考えるための基礎データを得たいと考え、「学会名鑑」という、日本学術会議、日本学術協力財団、科学技術振興機構の3者が連携して実施しているインターネット上のデータベースによる調査を試みました。そこには、2016年4月18日時点で72の経済経営系学会が登録されており、学会の位置付けを客観的に確認できます。まず、JAMSの創立年1981年は、古い方から28番目で、伝統ある学会といえるでしょう。35年の伝統に安住すべきではなく、常に、社会の要請や他学会の動向に注意を払い、改革の努力を怠らぬようにすべきでしょう。なお、創立から35年を経て、初期の歴史が曖昧になっていることは否めません。一度、学会の歴史を確認して構成する必要があると感じております。

次に、正会員数は、中央値が363名でJAMSの正会員数514名は、23番目であり、もはや小さいとはいえません。学生会員や準会員が無い学会も多いのですが、JAMSの128名は7位で、正会員と学生会員を合わせた順位は20位となります。学生会員の多さは、JAMSの特徴の一つといえます。近年、当学会が学生表彰に力を入れていることが、学生会員の増加、そして新規正会員の増加にも繋がり、研究発表大会の活性化に寄与していると言われております。恒常的活動としては、年2回の全国研究発表大会と、3年に1回のハワイでの国際会議、年3冊の和文誌、年1冊の英文誌、年4回のニュースレター、そしてメーリングリストによる頻繁な速報、これらは他学会と比べて遜色ないばかりか非常に活発であることが確認できます。

学会の外形とは別に、学術水準を向上させる取り組みは継続的に行われる必要があります。そのためには、会員が学習と研究を通じて知り得た新規の科学技術知識を、会員間で共有することが肝要です。会員の交流と情報共有の場として、学会の全国大会、支部研究会、あるいは、講演会やチュートリアルなどの研究部会活動が有効に利用されることを期待したいと思います。また、新しい知識は論文として学会誌に投稿していただきたいと思っております。若手はもとより、ベテラン研究者の方にも、ぜひ、論文投稿の労をとっていただきたいと存じます。実務に関わる会員の方には、実務に役立つような事例研究の投稿をご検討いただきたいと存じます。投稿のためにも、まずは大会での発表を重ねていただきたいと存じます。また、大会では、聴講いただくだけでも得るところが多いと考えます。多数の皆様に参加していただけたら幸いです。

私の任期はあと1年ですので、大きな変革はできませんが、将来に実現可能となりそうなアイデアの核を残しておきたいと思っております。学会運営や将来構想についてのご意見ご要望等をお持ちでしたら、私あてにメールをいただければ幸いです。(メールアドレス:oda@aitech.ac.jp)

第56回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム

【6月4日(土)】 受付開始 10:00～ (場所:本校舎1階 109教室)

時間	本校舎3階 304教室
10:30～11:00	評議員会
11:00～11:10	休 憩
11:10～12:10	理事会
12:10～12:40	各種委員会 (各担当教室)

時間	カメリアホール
12:50～12:55	実行委員総挨拶 横浜市立工業大学 永松 陽明
	会館挨拶 愛知工業大学 小田 哲久
12:55～13:50	総会
13:50～14:00	昼休憩
14:00～14:05	休 憩
14:05～15:05	基調講演: 横浜のオープンイノベーション・プロジェクト 横浜市政権置換担当理事 長谷川 孝
15:05～15:20	休 憩

時間	A会場 (一般:本校舎 2階 212教室) 第一議題: 自治体経営とオープンデータ	B会場 (一般:本校舎 2階 211教室) 経営品質科学研究部会: 合併型政令指定都市に関する研究	C会場 (一般:本校舎 2階 210教室) FOR法矛盾度のバリエーションを利用した 被験者のグループ化	D会場 (一般:本校舎 2階 209教室) タブー探査法による局所的な 選別のないスケジューリング生成に 基づくジョブ・シロップ・ スケジューリング	時間	E会場 (学生:本校舎 2階 208教室) 地方自治体におけるオープン データ取組の研究	F会場 (学生:本校舎 2階 207教室) 都市経営におけるシェアリング・ エコノミーを取り入れた施策の 研究
15:20～15:50	* 島根大学 本田 正美	* 明治大学 山下 洋史 明治大学 権 善喜 AMAシステムズ(株) 村山 誠	* 愛知工業大学 山田 洋巳 愛知工業大学 宇佐美 貴史 名古屋産業大学 成瀬 健一郎 愛知工業大学 小田 哲久	* 大阪工業大学 椎原 正次	15:20～15:40	* 横浜市立大学 上野 拓海 横浜市立大学 永松 陽明	* 東京情報大学 立原 祥平 東京情報大学 岡本 直一
15:50～16:20	統一議題: 石巻市におけるオープンデータを 活用したシステム構築に関する 一考察 * 石巻専修大学 森 瑞 石巻専修大学 工藤 周平	経営品質科学研究部会: 合併型政令指定都市の対等性と 中心性に関する研究 * AMAシステムズ(株) 明治大学 村山 誠 山下 洋史	職満足と生活の満足における Herzberの動機づけ 衛生要因の選別 * 愛知淑徳大学 上原 衛 愛知淑徳大学 浅井 怜衣	干渉する搬送設備を有するジョブ ショップ工程スケジューリング問題の 解法 - GA法を用いた解法 - * 近畿大学 谷崎 隆士 神奈川大学 片桐 英樹	15:40～16:00	* 立命館大学 東野 孝明 立命館大学 中塚 健雄	* 広島大学 岡 宏偉 OHT 羽森 寛 神奈川大学 片桐 英樹
16:20～16:35	特別講演: 日立におけるオープンデータの取組み 株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット * 前田 みゆき	特別講演: 日立におけるオープンデータの取組み 株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット * 前田 みゆき			16:00～16:20	製造業のRFIDにおける時間的概念的導入 の検討 * 横濱市立大学 小市子川 智弘 永松 陽明	* 愛知工業大学 愛知工業大学 香 智報 後藤 時政

16:35～17:20	特別講演: 日立におけるオープンデータの取組み 株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット * 前田 みゆき	特別講演: 日立におけるオープンデータの取組み 株式会社日立製作所 公共ビジネスユニット * 前田 みゆき					
17:20～18:00	休 憩 (懇親会場設置)	休 憩 (懇親会場設置)					
18:00～19:30	懇 親 会 (横浜市立工業大学生同窓)	懇 親 会 (横浜市立工業大学生同窓)					

【6月5日(日) 午前】 受付開始 9:00～ (場所：本校舎1階 109教室)

時間	A会場 (一般：本校舎2階 212教室) 地産中核立病院が目標とすべき経営指標	B会場 (一般：本校舎2階 211教室) 経営品質科学研究部会： 山梨県における市町村合併と商工会 合併に関する研究	C会場 (一般：本校舎2階 210教室) グループワークゲームを用いた 社会人基礎力向上の経年比較	D会場 (一般：本校舎2階 209教室) 企業の業務革新における「フレ ムム&ワークモジュール」手法の 有効性に関する研究～人材育成・ 組織開発・ナレッジ共有化の ための新アプローチ～	時間	E会場 (学生：本校舎2階 208教室) インキュベーターマナージャー によるネットワーク構築と インキュベーターの業績	F会場 (学生：本校舎2階 207教室) サブライヤの組織能力を可変 とした動的サブプライチエーン モデルの提案
9:30～10:00	* 岡崎女子短期大学 河合 晋 愛知工業大学 岡崎 一浩	* 山梨学院大学 糸子 勝一 明治大学 山下 洋史 AIAインシステムズ(株) 村山 誠	* 近畿大学 片岡 隆之 近畿大学 高山 智行 近畿大学 谷崎 隆士 営業中心と研究所 瀬尾 誠	* (株)ベリック 田原 祐子 東北大学 長平 彰夫	9:30～9:50	* 立命館大学 柳 壺 立命館大学 黒木 正樹	* 東海大学 高藤 昂一 東海大学 水野 浩孝
10:00～10:30	リスク感性とハザード感性の 構造分析をワーク 一層層分野を中心に	経営品質科学研究部会： 群馬県東毛地域での市町村合併と 神生市の「対等並型大規模飛地」	企業における環境適応の推進力 一般車と自己実現の視点から	11ベンチャー企業における人材戦略 とは	9:50～10:10	宇宙技術を活用したスピンオフ事例の 成功要因の抽出	サブライヤからの資源供給が 不確実な場合のタロースド ルール・サブプライチエーン の分析
10:30～10:40	相澤佐希子 上原 衛 山下 洋史	* 修文大学 相澤佐希子 愛知淑徳大学 上原 衛 明治大学 山下 洋史	* 産業能率大学 楮原 政治	* 立命館大学 黒木 正樹 立命館大学 大内 昭	10:10～10:30	中堅化学系企業とのR&Dにおける研究 テーマ創造に有効な組織ルーティン 要素	サブプライチエーンにおける連続 リスク管理のための指標の提案
10:40～11:10	ベクトル飲料のパッケージ デザインへの改善方法に関する研究	経営品質科学研究部会： 岐阜県におけるローカル鉄道路線の 存続要因に関する研究	Proactiveモデルによるビジネス 教育の研究	出展分析から見る中小企業の特許 活用における課題	10:40～11:00	経営品質科学研究部会 AIの導入が労働市場に及ぼす 影響に関する研究	日本における夏季期を考慮した 乗用車の需要予測モデル
11:10～11:40	調味料の伝達すべき魅力の導出 方法に関する研究	経営品質科学研究部会： 職場における有効な上司・部下 関係の探索一日中台比較を通して一	太陽光発電におけるIoT適用例	大学等研究機関の科学技術コミュ ニケーション活動活性化における 経営組織の役割	11:00～11:20	経営品質科学研究部会 ネットいじめの早期発見に 関する研究	Volatility forecast model using Monte-Carlo simulation?
11:40～12:40	* 早稲田大学 田中 俊樹 早稲田大学 横近 雅彦 早稲田大学 横原 千里 キョコマン(株) 佐藤 常雄	* 横浜商科大学 東海 詩帆 明治大学 山下 洋史	* 中央学院大学 浅井 達雄 東北大学 小林 俊哉 長平 彰夫	* 愛知淑徳大学 後藤 晴政 Veris(国際経営事務所) 樋口 武尚 福山市立大学 羽田 裕	11:20～11:40	愛知淑徳大学 安里 勇希 愛知淑徳大学 鄭 年皓	* 東海大学 藤吉 和樹 東海大学 田畑 智章

体 題 (各種委員会)

時 間	A会場 12:40~	B会場 12:40~13:10	C会場 12:40~13:00	D会場 12:40~13:00	E会場 12:40~13:00	F会場 12:40~13:00
12:40~13:10	Webマーケティング情報に基づく製品企画手法 * 日本文理大学 泉 丙亮 * 早稲田大学 澤口 学	経営品質科学研究会：堅牢型サイバーライネットワーク構築型サイバーネットワーク * 明治大学 山下 洋史 * 山梨学院大学 萩原 純宏 * 愛知淑徳大学 金子 勝一 * 愛知淑徳大学 鄭 年皓	店舗内の購買行動に関する一考察 * 東京大学 川中 孝章 * 東京大学 六川 修一	事業価値向上を阻む組織課題の解明と今後の組織的取組に求められる要件 * 名古屋工業大学 加藤 雄一郎	有償匿名報告書の子システム・ニングによる高利益・低利益企業の特徴分析 * 立命館大学 畑本 敬博 * 立命館大学 辻 伸太郎 * 立命館大学 浅 晋明 * 立命館大学 青山 敦	(学生：本校舎 2階 207教室) 商店街における動画共有サイト活用状況の分析 * 横浜市立大学 Zhang Ying * 横浜市立大学 永松 陽明 * 横浜商科大学 柳田 義雄
13:10~13:40	「階層介入戦略」における先行研究レビューとテレビ番組業界におけるNetflixの事例分析 * 名古屋産業大学 加藤 和彦	経営品質科学研究会：在庫低減と負荷平準化の多段階多品目調和モデル * 気象予報士 栗原 剛 * 東京大学 川中 孝章 * 明治大学 山下 洋史	百貨店の自主編集による業態イノベーションの事例研究 * 神戸学院大学 島永 嵩子	インターネット・マーケティングがもたらすテクノロジー・イノベーション * 名古屋工業大学 加藤 雄一郎	テキストマイニングによるインターネット掲示板の「炎上」の予測に関する研究 * 京都工業繊維大学 加藤 三四郎	設備機器に関する需要予測の研究 * 横浜市立大学 宋 越 * 横浜市立大学 永松 陽明
13:40~13:50	A会場 13:40~13:50	B会場 13:40~13:50	C会場 13:40~13:50	D会場 13:40~13:50	E会場 13:20~13:40	
13:50~14:20	おもてなしを創出する旅館経営の成功要因 * 九州産業大学 森下 俊一郎	経営品質科学研究会：利便性と構築的ファンクションを兼ねた多因子情報路モデル * ANAシステムズ(株) 村山 誠 * 明治大学 山下 洋史 * 明治大学 萩原 純宏	経営ビジョンを共有するためのアプリケーションケース記述方法の提案 * (株)加藤製作所 小林 延至 * 広島大学 川瀬 真紀 * 慶應義塾大学 白坂 成功	アントレプレナーシップ教育に関する一考察 * 立命館大学 林 永周	IT利活用を通じて6次産業化を目指す農家の事業運営に関する試み * 横浜創英大学 三浦 達也	公立大学における情報システム導入・活用の研究 * 横浜市立大学 小原 文弥 * 横浜市立大学 永松 陽明
14:20~14:50	自治体コミュニティバス運行管理支援ICTシステムの開発 * 九州産業大学 稲永 健太郎	経営品質科学研究会：基盤化ファンクション・エントロピーを用いた多因子情報路モデル * 明治大学 榎 善喜 * 明治大学 山下 洋史	仕事の特性と組織市民行動（一製造業における質問票調査結果の分析一） * 久留米大学 奥井 秀樹	オープンイノベータの戦略 * ハナソニック 田平 由弘	消費者の情報化を活用したサービス・デリバリー・システム拡張による差別化戦略 * 横浜商科大学 金森 孝浩	
14:50~15:00	職人達が持つ優れた技術・技能の可視化と価値の向上 エスノグラフィートとICTによる技術・技能継承のためのシステム構築 * (株)リンクレア 小田島 舜 * 芝浦工業大学 平田 貞代	経営品質科学研究会：コミュニケーション・ネットワークにおける情報の重要性を考慮した事前情報配分モデル * 明治大学 山下 洋史	コーポレート・ガバナンスにまつく機関が経営に与える影響 * 青山学院大学 市倉 信藏 * 青山学院大学 熊谷 敏	* ハナソニック 田平 由弘	* 千葉商科大学 仲野 友樹	
15:00~15:30	災害対策内包型システムの設計 * 静岡理工科大学 三原 康司	経営品質科学研究会：積極的運動性を考慮したネガティブ情報の内容的価値と占有的価値 * 明治大学 山下 洋史 * 横浜商科大学 東海 詩帆 * 愛知淑徳大学 鄭 年皓	持続的な企業価値向上を可能にするNOPATと投下資本の関係 * (株)LIXIL 藤原 大豊	101ベンチャーの成長課題ーM-KOPAを事例としてー * ハナソニック 田平 由弘	中小企業における情報システムの導入と活用について研究 * 千葉商科大学 仲野 友樹	
15:30~16:00						北中米自動車部品企業におけるサプライチェーン維持のためのBCP/BCMに関する研究 * 東北大学 中村 正 * 東北大学 長平 彰夫 * 立命館大学 石田 修一

---

## 平成 27 年度第 4 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2016 年 3 月 19 日（土） 15:00～17:00
- II. 開催場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバス・ホール
- III. 出席者：小田、浅井、山下、石田、上原、金子、川中、佐々木、鄭、村山、近藤、佐藤、西口、原田、深澤、松岡、水上（監事）石井、松丸（オブザーバー）永松（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 2015 年度第 3 回理事会議事録の確認(上原)：2015 年度（平成 27 年度）第 3 回理事会議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
  2. 会員の入退会について(上原)：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、2016 年 3 月 17 日現在、正会員 517 名、学生会員 130 名となった。
  3. 第 56 回全国研究発表大会の準備状況について(永松)：第 56 回全国研究発表大会(開催校：横浜市立大学、開催日・開催場所：2016 年 6 月 4 日（土）、5 日（日）、横浜市立大学金沢八景キャンパス、統一論題：オープンデータの活用推進と経営システム)の準備状況についての説明がなされ、承認された。
  4. 第 57 回全国研究発表大会の準備状況について(佐々木)：第 57 回全国研究発表大会(開催校：札幌大学、開催日程：9 月下旬から 10 月、開催場所：札幌大学) について説明され、承認された。
  5. 研究（口頭）発表の資格に関する規定類の見直しについて（佐々木）：研究（口頭）発表の資格に関する規定類の見直しについて説明がなされ、学生発表の要件および学生研究発表優秀賞の要件についての議論がなされた。また、会員の種別と要件についても議論がなされた。「研究発表規定」「学会発表に関する原則」とも原案が大筋として承認された。今後、大会委員会、規定委員会、表彰委員会が連携を取り、本日議論された細かい点について反映の上、修正することが上記 3 委員会に一任された。その上で、最終的に会長の承認を得たうえで、「学会発表に関する原則」は第 56 回全国研究発表大会の施行・適用を目指し、「研究発表規定」については 6 月 4 日開催予定の総会での承認を得ることを目指し作業を行うこととなった。また、会員の種別と要件については、今後、組織委員会で検討していくこととなった。
  6. 総会資料の作成について（上原）：6 月 4 日(土)に予定される総会の資料作成に向け、各種委員会に資料作成依頼がなされることが説明され、承認された（事務局あて報告期限は 3 月 30 日）。
  7. 総会および評議員会開催について（上原）：6 月 4 日(土)に総会・評議員会を開催したい旨の説明がなされ、承認された。
  8. 過去の受賞者、並びに受賞対象業績一覧をホームページに掲載することについて（川中）：過去の受賞者、並びに受賞対象業績一覧をホームページに掲載する事について説明が有り、原案の通り承認された。
- V. 報告事項
  1. 第 55 回全国研究発表大会の開催結果について（佐々木）：2015 年 9 月 2 日、3 日に、北九州国際会議場において、第 55 回全国研究発表大会が国際経営工学会議(ISME2015) との同時開催の形で開催され、特別講演、基調講演、パネルディスカッション、統一論題 7 件と自由論題 56 件の研究発表に加え、チュートリアルが実施された旨が報告された。同時に、収支報告について報告された。
  2. 学生発表優秀賞について（川中）：第 55 回全国研究発表大会における「学生研究発表優秀賞」についてメール審議を行い(2015 年 10 月 13 日の理事宛てメールで結果を連絡)、決定した旨の報告がなされた。
  3. 他学会への協賛について（村山）：他学会シンポジウム等協賛関連について報告された。
  4. 第 55 回全国研究発表大会の赤字額の学会からの補てん(負担)に関するメール審議について(上原)：上記、報告事項「1」の収支報告の通り発生した赤字額は、メール審議を行い（2016 年 1 月 11 日の理事宛てメールで結果を連絡）、決定した旨を報告事項の「4.その他」として報告された。

---

## 第 57 回（2016 年秋季）全国研究発表大会 開催スケジュールのご案内

---

開催日：2016 年 10 月 15 日（土）、16 日（日）

開催場所：札幌大学 〒062-8520 北海道札幌市 豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1

統一論題：「デジタルイノベーションと経営システム」

連絡先：実行委員長 堀江 育也（札幌大学）E-Mail:i-horie@sapporo-u.ac.jp

※近年、外国人観光客増加により札幌市内のホテルの宿泊料が高騰し予約も難しくなっております。各自で早めの手配をお願いいたします。

## 経営モデル研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2016年7月2日（土） 14:00-16:00

開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1号館 3F 1308 教室

連絡先：田畑 智章（東海大学） Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp

金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

### 入会者リスト

(2015. 7. 20~2016. 4. 28)

#### 1. 正会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
杉浦 晶子	愛知工業大学・金城学院大学	丸山 宏	横浜市立大学
新村 猛	がんこフードサービス(株)	中村 正伸	香川大学 大学院
西平 守秀	立命館大学	反田 和成	香川大学 大学院
福德 貴朗	上智大学 大学院	高橋 哲郎	立命館大学
田原 祐子	(株) ベーシック	藤原 大豊	(株) LIXIL
井戸 智子	愛知淑徳大学	小林 富雄	愛知工業大学
中川 勝吾	福岡大学	辻 健太郎	(株) Data Vision
後藤 時政	愛知工業大学	相撲 佐希子	修文大学
神宮 貴子	共愛学園前橋国際大学	丸山 恭司	愛知工業大学
梶原 千里	早稲田大学	山岡 真理	文化ファッション大学院大学
佐藤 常雄	流山キッコーマン(株)	高山 智行	近畿大学
塚田 努	(株) クリーブ	瀬尾 誠	一般社団法人営業ひと研究所

#### 2. 学生会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
増田 拓也	東海大学 大学院	上野 拓海	横浜市立大学 大学院
斎藤 晃一	東海大学 大学院	加藤 三四郎	京都工芸繊維大学 大学院
山下 希	東海大学 大学院	加瀬部 強	岡山大学 大学院
Anantrakankit Janista	東海大学 大学院	東野 孝明	立命館大学 大学院
土山 真由美	芝浦工業大学	小原 丈弥	横浜市立大学 大学院
青山 早苗	芝浦工業大学	岡井 将記	立命館大学 大学院
張 東豪	神奈川大学	森 智哉	愛知工業大学 大学院
水野 佑規	愛知工業大学	畑本 敬博	立命館大学 大学院
田仲 俊樹	早稲田大学 大学院	劉 曉婷	愛知工業大学
宋 越	横浜市立大学 大学院	村上 太希	愛知淑徳大学
張 いん	横浜市立大学 大学院	安里 勇希	愛知淑徳大学

#### 3. 学生会員から正会員へ変更

氏名	所属	氏名	所属
林 永周	立命館大学 総合研究機構	小鹿 雅弘	神奈川大学 大学院
木内 敦規	(株) 日立製作所	田仲 俊樹	早稲田大学 大学院

名誉会員 高橋先生の訃報について

本学会名誉会員 高橋 進氏（元東海大学）がご逝去されました。謹んで哀悼の意を表すとともに、ここにご報告申し上げます。



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703  
TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
E-Mail:keieisys@hh.ij4u.or.jp